

環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成 25 年 7 月 22 日

妥当性確認結果の概要報告書

妥当性確認の審査結果ならびにパブリックコメントの概要について以下の通り報告いたします。

対象プロジェクト名			
宮崎県における化石燃料から木質ペレットへの燃料代替プロジェクト			
GHG 妥当性確認機関			
当該プロジェクトにおける妥当性確認を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。			
機関名	一般財団法人 日本品質保証機構(JQA)		
担当部署名	地球環境事業部		
責任者名	常務理事 矢野 忠行		
責任者 E-mail	yano-tadayuki@jqa.jp		
責任者電話番号	03-4560-5600		
審査員名	審査担当者 : 滝口 幸次(審査チームリーダー) 外部専門家 : なし レビュー担当者 : 浅川 健一(テクニカルレビュー、プロセスレビュー)		
機関要件への合致	合致		
妥当性確認報告書発行日	2013 年 7 月 22 日		
審査内容			
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver. 2.2		
妥当性確認期間	2013 年 7 月 2 日～ 2013 年 7 月 22 日		
現地審査	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	期間	2013 年 7 月 4 日
	審査内容	<p>デスクレビュー(フェーズ 1 審査)の結果に基づき、プロジェクト事業者等に対するインタビュー、記録及び現地確認(フェーズ 2 審査)を行った。審査ポイントは以下の通りである。</p> <p><GHG データ及び情報></p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの活動境界の設定が適切か プロジェクト活動に関係するすべての吸収・排出活動が特定されているか ベースラインの設定は適切か 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ パラメータのモニタリング方法は適切か <p><QA・QC 体制></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モニタリング体制及び算定体制は適切か ・ モニタリング担当者の力量が確保されるか ・ データチェックはどのように行われるか ・ 計測機器の管理はどのように行われるか
プロジェクト情報 (A・B)	記載内容が適切であることを確認した。
適格性要件 (C)	適格性要件 (No.SS-E002 Ver.8.2) を満足することを確認した。
排出量・吸収量算定 (I・II)	モニタリング方法ガイドライン (Ver.4.1) 及び方法論 (No.SS-E002 Ver.8.2) を満足し、適切な内容であることを確認した。
モニタリング計画 (III～VI)	モニタリング方法ガイドライン (Ver.4.1) 及び方法論 (No.SS-E002 Ver.8.2) を満足し、適切な内容であることを確認した。
その他 (D)	記載内容が適切であることを確認した。
機関の見解 (サマリー・結論)	<p>一般財団法人 日本品質保証機構 (JQA) は、「宮崎県における化石燃料から木質ペレットへの燃料代替プロジェクト」におけるプロジェクト計画書 (Ver.2.1) 並びにモニタリング計画書 (Ver. 2.1) の妥当性を確認した。その結果、本プロジェクト計画書及びモニタリング計画書が、オフセット・クレジット (J-VER) 制度実施規則 (Ver.4.2)、モニタリング方法ガイドライン (Ver.4.1) 及び方法論 No.SS-E002 (Ver.8.2) により定められた適格性基準・方法論詳細に依拠して作成されていることを確認し、不確かさ及び誤りの評価結果が 0% となり、重要性の判断基準の 5% 未満であることから、妥当性確認意見は無限定適正意見であることを表明する。</p>
パブリックコメントの概要	
パブリックコメントの募集期間: 2013年7月2日～7月15日	
コメント: 該当なし	
妥当性確認機関の見解: -	

i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。